

第93回：百寿を迎えた紅いナポレオン

世界の軍事専門家に向かって、最も偉大なアジア人の軍人は誰かと訊けば、議論の余地はないだろう。一に東郷平八郎、次がボーグエンザップである。但し、ジンギスカンと回答されても困るので昔は除く。

ベトナムは第一次インドシナ戦争(1946-1954)で嘗ての宗主国フランスをインドシナから駆逐する。続く第二次インドシナ戦争、即ちベトナム戦争(1962-1975)では超大国のアメリカに勝利する。そして、共産党同士が争った中越戦争(1979)では越境してきた中国人民解放軍を追い払う。アジアの小国が大国を連破したのは現代史の椿事であり、この奇跡を演じたのがベトナム建国の父であるホーチミン(胡志明)の戦友で、「紅いナポレオン」と呼ばれたボーグエンザップ(武元甲)大将である。なぜこんな話題を出したかといえば、最近ベトナムのウェブサイトで久しぶりに彼の記事を見かけたからである。記事の内容にも驚いたが、ベトナムに華語サイトがあるのに更に驚いた。

世界の国と地域のなかで、いまでも漢字を使用しているのは、日本、シンガポール、台湾だけとなった。中国と陸続きの隣国の多くが中国の拡張主義に怯えるあまり、中国の同化政策のツールとなる漢字を自国から追放したのである。例えば朝鮮半島。韓国の標記が、朴正熙からパクチョンヒに、京城からソウルに変わったのは当然知っているが、最近の韓流ブームのなか朝鮮半島から流れてくるイドンゴン、パンギブン、テグ、クアンジュ等の名前には難儀している。漢字で書けば歴史上の人物も、好太王に李瞬臣、朴泳孝に金玉均とすらすら言えるが、六甲学院では筆者に朝鮮語の発音まで教えてくれなかった。筆者がむかしから知っている朝鮮語といえば、上村提督がウラジオ艦隊を撃破したウルサン(蔚山沖海戦)と、メガド元帥が逆上陸したインチョン(仁川)くらいだろう。因みにマ元帥(MacArthur)を日本では「マッカーサー」と発音するが韓国語の発音は「メガド」である。理由は知らん。

そんなわけで漢字を捨てたベトナムに華語 HP が存在するとは思わなかった。その「越南共産党電子報」8月26日付、「武元甲大将の生誕100年を祝う」という記事を見つけたとき、むかしの指導者の生誕百年祭かと思ったら、ベトナムの英雄ボーグエンザップ将軍がこの8月で100歳を迎えたという記事だと知り吃驚した。同将軍は現代史に三度登場する。最初はフランスとの独立戦争。1946年に始まった第一次インドシナ戦争において、彼はベトナム軍総司令官としてゲリラ戦を指導する。ベトナム軍は奮戦するものの慢性的な戦力不足に悩み、戦線は膠着戦の様相を帯びてくる。広域戦で疲弊した兵站は伸びきり、それを見た仏軍は北部の穀倉地帯を圧するディエンビエンフー(奠邊府)に空挺部隊を降下させ、エアボーン作戦で頑強な要塞を築き始めた。これに対してボーグエンザップ率いる越軍は、ソ連と中国から供与された山砲・迫撃砲・ロケット砲をロープと手押し車だけでしゃにむに山頂に運び上げ瞰制高地の確保に動く。気の遠くなるような人海戦術の末に設置された大砲群はジャングルの葉っぱや蔓草でカモフラージュし、この秘密基地から越軍は54年3月の払暁、一斉に砲撃を開始する。この結果ディエンビエンフー要塞は2カ月で陥落、2万人を超える仏軍のうち2000人強が戦死、1万人以上が捕虜となり、10年近く続いた戦争は終結する。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

ベトナム戦争でも、敵をジャングルの奥深く引きずり込むベトナム式人海戦術は大きな効果を発揮する。米軍は大規模な北爆を加えるが、橋を空爆してもベトナム軍はすぐジャングルの大木を伐採し、密林の蔓で束ねて橋の代替品をつくり、多数の兵士が河川に飛び込み担ぎながらトラックや装甲車を通したというから尋常の戦術ではない。最強の米軍も想定外の人海戦術に疲れ果て、75年にサイゴン(西貢)は陥落する。6万人を超える死者と行方不明者を出したベトナム戦争はアメリカの完敗に終わり、20世紀の超大国として栄華を誇ってきた米国の歴史に深い傷跡を残した。

ベトナム人は否定するが、中国人にとってホーチミン、ボーグエンザップは少数民族のような存在である。二人とも中国語に堪能で、仏印時代は一時中国国内に潜伏した時期もある。共産党の同志として中国人民解放軍との関係も緊密であった。米仏との戦争では中国から大量の武器と共に軍事顧問を受け入れ、戦術や武器の運用を学んだ。当時中国に黄埔軍官学校を卒業し、ソ連で爆破技術を学んだ陳賡大将(1903-1961)という人物がいた。彼は中国建国の翌年の50年に雲南軍区の司令官に就任するが、着任するや否や任地を離れベトナムに駐紮し、ボーグエンザップ率いる越軍に戦法を伝授する。翌年、陳大将は朝鮮に派遣され、朝鮮戦争で中国人民志願軍総司令官の彭徳懐元帥を補佐する副総司令官として実戦の指揮を執る。陳賡大将はいまでは語られることも少ない地味な人物であるが、正真正銘の戦争のプロであった。

中越戦争は中国で改革開放政策がスタートした78年の翌年に勃発する。中国は油断したわけではなく、ソ連の近代兵器で武装した当時の越軍が強敵であることは十分認識していた。ときの解放軍指導者は総参謀長の鄧小平。不幸なことに文化大革命の影響で有能な将帥の多くが死去ないしは年老いてしまい、後継者も育っておらず、頼みの羅瑞卿大将まで急死したため、鄧小平はやむなく昔取った杵柄で自ら戦争の指揮を執ることになった。現地派遣の最高司令官は少林寺拳法の達人である猛将・許世友(上将)、前線の司令官は朝鮮戦争の英雄・楊得志(上将)という最高の布陣で中国は戦争に臨む。対するベトナム軍は、国防相が老雄ボーグエンザップ(当時68歳)、参謀総長がヴァンチエンズン(文進勇)。彼らは陳賡大将から教わった戦法を採用する。先ず敵の大軍をジャングル奥地に引きずり込み、これに地方軍と民兵がゲリラ攻撃を加え、補給線を断って敵を疲弊させる。そして最後にベトナム正規軍が登場し敵を殲滅する。「紅色拿破崙=紅いナポレオン」と呼ばれたボーグエンザップは中国のお家芸である人海戦術とゲリラ戦を展開し、出藍の誉れを実現させる。いま世界中の士官学校でボーグエンザップの戦史を教えているという。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年9月29日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。